

あ お ば だ よ り

Vol. 37
情報管理広報委員会



<成年に思う>

「イヌ(戌)」について一言

今年の干支の戌（いぬ）が、名前につく植物があります。オオイヌフグリです。「植物大百科辞典」によれば、春早くに、直径1cmに満たない小さな青色の花を咲かせます。この名前の由来は「大きなイヌのふぐり」です。「ふぐり」とは陰囊（いんのう）のことで、タネの姿が似ているからです。この植物以外では、ほとんどの場合、「イヌ」という語は「役に立たない」という意味で植物名に使われています。これは「何の役ににも立たない死」を意味する「犬死に」という言葉の「イヌ」にちなんでいます。姿や形がよく似ているけれども役に立たない植物に、「イヌ」がつけられています。

たとえば、タデは刺し身の“つま”に役立ちますが、イヌタデは刺し身のつまに役立ちません。カラシは香料として使われますが、イヌガラシは辛子として役に立ちません。ムギやヒエ、ワラビは食用になりますが、イヌムギやイヌビエ、イヌワラビは食用にはなりません。

一方で、「イヌ」がついていても、のちのち評価ががらりと変わる植物もあります。その一つに、イヌサフランという植物があります。この植物の姿や花は、高価な生薬や香辛料につかわれるサフランという植物に似ています。しかし、イヌサフランは生薬や香辛料に使えなかったので「役に立たないサフランのような植物」という意味で、サフランに「イヌ」がつけられました。この植物は、他の植物と間違えて食べると、ひどい食中毒をおこします。

その原因は、この植物に含まれている「コルヒチン」という有毒な物質です。コルヒチンは有毒物質ですが、現在では、「痛風」という病気の特効薬となっています。痛風は、足の親指の付け根などが腫れて、「風に当たっても、痛みを感じる」というつらい病気です。

また、コルヒチンは種なしスイカの種子をつくるのにも使われます。近年、イヌサフランは、園芸用の植物として「コルチカム」という名で市販され、花壇などで栽培されています。

この植物は「イヌ」がついていても、今は役に立っているのです。「ある植物が、役に立つか、役に立たないか」は、時代の文化や技術により変わっていきます。「イヌ」がつく植物であっても、いつか役に立つ日がくる可能性が秘められています。

この「役に立つ、役に立たない」も、人間にとって「役に立つ、立たない」のであって、地球の大自然からみると、何かの役に立っているのかもしれませんが、そうでなければ、むやみやたらに無意味な生き物を神は創造しているはずはないのです。

病気も障害も「役に立つ、立たない」で見るのではなく、天地のもとで神がすべての生きとし生けるものに、何かの役割を与えているのです。決してこの世界に「犬死に」などは存在しないのです。【参考文献「植物大百科事典」】

平成30年 戌年元旦

《相談役 顧問：古澤 巖》

認知症市民フォーラム in うき 2017 開催される

平成29年10月21日平成29年11月11日（土）、「宇城市認知症を考える会」（宮本英七会長）が共催する「認知症市民フォーラム」がウイングまっばせで開催されました。

プレイベントのRUN伴（ランとも）では当院の三浦理事長、宮本医師、古澤看護師、齊所看護師、平田作業療法士が参加し、一つのタスキをつなぎゴールを目指しました。



基調講演では、福祉ジャーナリストの町永俊雄氏が『認知症になっても安心して暮らせる地域（まち）づくり』というテーマで市民の方々に分かりやすくお話され、今後の地域づくりについて考えさせられるよい機会となりました。

《地域連携部 大津留》

第12回 あおば祭を終えて

去る平成29年10月21日（土曜日）第12回あおば祭が開催されました。テーマは、「みなさんのおかげ 感謝をこめて」でした。多くの方々のお力添え、支えがあり、今日に至る事への素直な気持ちを表したテーマでした。

平成28年熊本地震によりほとんどの入院患者さんは県内外の病院に転院を余儀なくされる状態でした。病院の改修工事が開始。ようやく一部の患者さんが病棟に戻って来た時、シンガーソングライターむたゆうじさんがコンサート開催について声をかけていただきました。入院患者さんはもちろん病院職員も余震の恐怖と今後の不安を抱きながら生活していました。そんな時にむたさんの歌声とおしゃべりで患者さんの笑い声と笑顔を見ることが出来ました。コンサートが終わって「みんなが帰ってきたら、またやりましょう！」と言ってくださり、第11回あおば祭でむたゆうじさんのおしゃべりコンサートが実現しました。さらに第12回あおば祭ではむたゆうじさん以外に、もっちゃんこと本橋馨さん、県内外で活躍中のやうちブラザースさんに出演していただきました。笑いとおしゃべり、おしゃべりと笑いが午前中途切れる事なく会場を包みました。最高の盛り上がりとなりました。午後のプログラムではあおば病院職員で構成される和太鼓チーム“蓮”による演奏にはじまり、肥後笑福会宇城支部さんによる日向ひょっこり踊り、豊野なでしこさんによる千本桜、SKYさんによる吹奏楽がありました。10ヶ所の事業所から焼き菓子、から揚げ、シフォンケーキなどたくさんの出店をしていただきました。遠くは熊本市東区からも販売に来ていただきました。アロマライセンスカレッジさん（熊本市水前寺）のアロママッサージでは2歳の男の子から97歳と幅広い年齢の方々に体験していただきました。院外の多くの方々のご協力によりあおば祭が成り立っている事を切に感じております。多くの方々に来院していただけるよう更なる努力と工夫をしていきたいと思ひます。誠に有難う御座いました。



お 店 紹 介



【お店データ】
肉肉うどん 嘉島店
熊本県上益城郡嘉島町鮎1896-2
096-235-6222



今回ご紹介するお店は、嘉島に新しくできた
うどん屋「肉肉うどん」です。 福岡発祥のお店だそうです。

アメトークの「しょうが芸人」放送の際、博多華丸さんのお勧めで
「体調が悪ければ悪いほどうまい！」と紹介されました。

今回は「元祖からあげ定食」を頂きました。しょうがのパンチがきいた
だしと麺が程よくなじんで、おいしかったです。

なんだか身体が暖まりました。

〈 情報管理広報委員会 〉

病院の理念

「ひと」 その人らしさを大切に
「こころ」 こころのリハビリを通して
「和」 地域に和をひろげます

病院の基本方針

- 一、人権の尊厳 ころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族に、やさしさと思いやりの心で接します
- 一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ努力を続けます
- 一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、より質の高い医療サービスを提供します
- 一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通した生活活動支援に積極的に取り組みます

病院所在地 & アクセスマップ



医療法人社団 明心会

あおば病院

精神科・心療内科・内科

〒869-0513

熊本県宇城市松橋町萩尾2037番地1

TEL : 0964-32-7772

FAX : 0964-32-7333

E-mail : aoba2120@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://www.aoba-hospital.jp>

